

21日 木曜

Ⅱコリント

8:1 さて、兄弟たち。私たちは、マケドニアの諸教会に与えられた神の恵みを、あなたがたに知らせようと思います。

8:2 苦しみゆえの激しい試練の中にあっても、彼らの満ちあふれる喜びは、その極度の貧しさにもかかわらず、あふれ出て、その惜しみなく施す富となつたのです。

8:3 私はあかしします。彼らは自ら進んで、力に応じ、いや力以上にささげ、

8:4 聖徒たちをささえる交わりの恵みにあずかりたいと、熱心に私たちに願ったのです。

8:5 そして、私たちの期待以上に、神のみこころに従って、まず自分自身を主にささげ、また、私たちにもゆだねてくれました。

8:6 それで私たちは、テストがすでにこの恵みのわざをあなたがたの間で始めていたのですから、それを完了させるよう彼に勧めたのです。

8:7 あなたがたは、すべてのことに、すなわち、信仰にも、ことばにも、知識にも、あらゆる熱心にも、私たちから出てあなたがたの間にある愛にも富んでいるように、この恵みのわざにも富むようになってください。

8:8 こうは言っても、私は命令するではありません。ただ、他の人々の熱心さをもって、あなたがた自身の愛の真実を確かめたいのです。

8:9 あなたがたは、私たちの主イエス・キリストの恵みを知っています。すなわち、主は富んでおられたのに、あなたがたのために貧しくなられました。それは、あなたがたが、キリストの貧しさによって富む者となるためです。



Bible Reference
聖書の記述

8:10 この献金のことについて、私の意見を述べましょう。それはあなたがたの益になることだからです。あなたがたは、このことを昨年から、他に先んじて行なつただけでなく、このことを他に先んじて願った人たちです。

8:11 ですから、今、それをし遂げなさい。喜んでしようと思ったのですから、持っている物で、それをし遂げができるはずです。

8:12 もし熱意があるならば、持たない物によってではなく、持っている程度に応じて、それは受納されるのです。

8:13 私はこのことによって、他の人々には樂をさせ、あなたがたには苦労をさせようとしているのではなく、平等を図っているのです。

8:14 今あなたがたの余裕が彼らの欠乏を補うなら、彼らの余裕もまた、あなたがたの欠乏を補うことになるのです。こうして、平等になるのです。

8:15 「多く集めた者も余るところがなく、少し集めた者も足りないところがなかつた。」と書いてあるとおりです。

献金についての模範がコリント教会の人々に語られています。他教会の人と比べられて、”あつちはすばらしい”などと言われるのは面白くないものですが、コリント教会の人々はそのような小さなことにこだわらず、みこころを成したいと思ったのでしょうか。少なくともパウロは、そのようなコリント教会の人々であることを信じていたようです。

献金は「あなたがたの益になる」というように、神様からの祝福を受けられるものです。それだけでなく、教会を支えて立て上げるために必要です

から、自分たちの教会が自分たちを支えるようになるでしょう。

そのような献金は、「貧しさにもかかわらず」にするものです。主が与えてくださるからです。それは金額の多い少ないではなく

「施す」という行為自体が「富」であり価値なのです。

また献金はいやいやではなく「願って」ささげるものです。またそれは「真実の愛」が表れるものです。教会をまた教会の兄弟姉妹を愛しているがささげないとということは有り得ません。その模範はイエス様であると、パウロは語っています。献金においても真実な信仰を表しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

